

2019年度
活動報告
in 小豆島

香川大学博物館 高大接続推進事業

活動名:「さぬき自然史探求」

日時: 令和2年2月1日(土)
【ガイダンス】9:50~10:10
【実習】10:15~12:15
【まとめ】12:15~13:20

活動場所:【実習】大麻山周辺

【まとめ】香川県立小豆島中央高等学校(小豆島町蒲生甲1001)

講師:【地形・地質班】寺林 優(博物館長・創造工学部教授)

参加者:

小豆島中央高等学校	生徒	1名	教員	3名	一般	1名
香川大学	教員	1名				
ティーチングアシスタント		2名				
博物館職員		2名				

合計10名

内容: フィールド実習で、小豆島の土台(基盤)を構成している花崗岩類(約8000万年前)について、理学のおよび工学的な観点から調べ身近な大地の成り立ちや土地の利用について理解する。ハンマーで露頭の表面を削って土壤硬度を測定する。

○花崗岩(とその露頭)と崖錘(がいすい)の見分け方

○岩石(岩相)……花崗岩類の組織(つくり)や構成している鉱物の種類

○構造(節理)……花崗岩類中にみられる構造に変化

○物理的性質……山中式土壤硬度計を用いて、花崗岩類の風化の程度

○地形……傾斜の違いは何によるのか、植生や土地利用の違い

【クリノメーター】層理面、節理、断層などの姿勢(走向・傾斜)を測定する器機

【山中式土壤硬度計】土壤の物理的性質を表す土壤硬度を測定する

内容: 9時50分、香川県立小豆島中央高等学校教室に集合し、開講式を行った。講師紹介後、フィールド実習の事前説明を行った。その後、フィールド実習を行った。実習後、教室に戻り本日の実習のポイントの説明を行い、それを受けての質疑応答に約30分、最後にアンケートの記入を行って終了した。

活動風景



小豆島中央高等学校



実習事前説明



大麻山へ



クリノメーターの使い方について



山中式土壌硬度計の使い方について



露頭で硬度測定(同一露頭で3か所測定)



露頭の説明



硬度の測定



節理をクリノメーターを使って測定



硬度の測定



各ポイントの測定値の記入



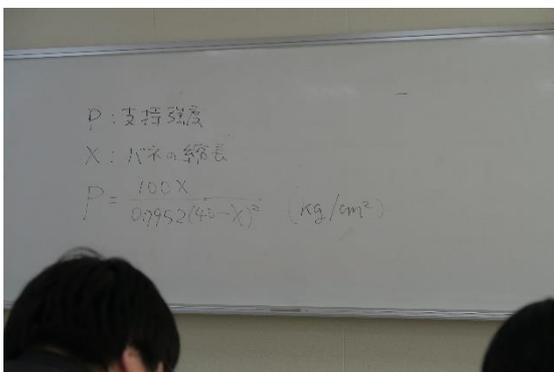
谷に降りての測定



池田湾の地形の説明



小豆島中央高等学校の地形についての説明



硬度計の仕組みについてのレクチャー



質疑応答

参加者の 感想

学生

- ・初めての分野で、道具、調査方法など全て分からない状態からのスタートだった色々なことを教えてもらって地学分野への関心を深めることができた。

教員

- ・本日は、小豆島までお越しいただき、少人数の生徒にていねいにご指導いただきありがとうございました。
学校の周辺でのフィールドワークは生徒にとっても貴重な体験になります
- ・花崗岩が思った以上に風化しておどろきました。風化と植生との関係を調べてみたいと思います。自然科学部で、湿地の分布と地質の関係について調査してみようと思いました。
- ・普段、通勤している場所からすぐ近くの距離で、普段全くやったことのない経験ができ、楽しく感じると同時に生徒をつれて何かしらできないものかと思いながらの山道でした。